

case 05

シェアオフィス

宮園の coworkingスペースの隣にあるシェアオフィス。
ここでは、令和4年に町と立地協定を結んだ2社と、
子育て中のママ目線で働く女性を応援する団体が
オフィス空間を共有しています。
益城町のシェアオフィスを選んだきっかけや思い、
お仕事内容などをそれぞれの代表者に伺いました。



代表 あくねひろみさん



二度の被災を経て伴走型サポーターに

lifehackは、「人助け」をテーマに、子育て中のママ目線での起業のお手伝いや、選ばれ続けるためのブランディング構築、初めて起業される人のウェブ関係の支援など、起業したい主婦に寄り添ったさまざまなコンテンツを提供しています。

兵庫出身の私は、阪神淡路大震災を経験し、結婚後移住した熊本で重ねて被災。表面的な復興は進みますが、「暮らしや人の心」の復興にはさらなる時間を要することを体験してきました。会社勤めやフリーランス事業、子育てなどを経験し、女性的な視点から少しでもお役に立てればと益城町にオフィスを構えました。

コロナ襲来をきっかけに、現代社会は先行きが不透明な時代に突入し、私たちはこの流れに調和していかざるを得ない状態です。過去に依存し、目を閉じてしまえば快適な暮らしはありません。私も一人の主婦であり、子育て中である女性です。皆さんの暮らしに寄り添う、伴走型サポーターとして、新しいことを共に学び、シェアできる環境をつくりたいと思います。

お問い合わせ

lifehack→



株式会社iroha.地方DX事業責任者

Mail mao.oono@iroha-2.com

合同会社中小企業DX研究所→

